

**【プログラム8：モラルやマナーについて考えよう！  
～自転車の乗り方を通して～】**

《 形態：全 → 全体 個 → 個人 G → グループ 》

時間	形態	講座の流れ	
1分	全	1. ねらいを確認する。 [キーワード] ○ 交通ルール	【1分】
26分	個 G	2. 自転車の乗り方○×クイズをする。 (1) クイズの答えと自分の行動をワークシートに記入する。 (2) 正解を聞き、どういう感想をもったかグループで紹介し合う。	【8分】
		3. モラルやマナーについて考える。 G (1) 自分が守っているモラルやマナー、大事にしているモラルやマナー、また、守れなかったモラルやマナーを紹介する。 ※ここで言う「モラル」とは、法令遵守を含め、倫理観や道徳意識のこと。世代や状況によって徐々に変化するマナーよりも普遍的な価値観を含んでいるもの。 ※問いかけをする時に、具体的な例をいくつか紹介すると、生徒も分かりやすい。 〈例〉何かしてもらったら必ず感謝の言葉を伝える、挨拶をする、SNSを使うとき誰かを否定するようなつぶやきはしない等	【15分】
	G (2) 人のモラルやマナーが低下した行動で、嫌な思いをした経験はないか、経験談を紹介する。		
	個全	4. 活動を通して、考えたことや感想を紹介する。	【3分】
3分	全	5. まとめ ・自分の命を大切にしてほしい。 ・自転車の乗り方をはじめ交通ルールは守らなければならないものである。しかし、「自分には関係ない」、「自分は大丈夫」という過信が芽生えることもあるが、その過信は禁物である。 ・近年、モラルの低下が指摘されている。自分勝手な考えや都合を優先してしまうことが、モラルの低下につながるのではないだろうか。「社会で生きる」という意味をしっかりと考えてほしい。	【3分】

**【親になったときに考えてもらいたいこと】**

- ・自分の子どもに誇れる行動がとれる親であってほしい。子どもは、身近な人の影響を受けながら育つ。とりわけ一番影響力が大きいのは保護者である。「子は親の鏡」という詩もあるように、子どもにやってほしくないことは親がしないなど、子どもの見本となる大人になってほしい。